

# 委託事業実施内容報告書

## 平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【日本語教室の設置運営】

受託団体名 特定非営利活動団体浜岡日本語講師の会

#### 1. 事業の趣旨・目的

日本の社会システム、精神性、エネルギー事情、文化、歴史などを総合的に理解する。

#### 2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
23年6月6日	池新田公民館	沖静男、鴨川富美子、西郷多恵子、石川尚子	「日本総合理解講座」実施年間計画	・「日本総合理解講座」年間概略計画 ・5月実施状況 ・6月の授業について ・課外授業「文化体験」の進め方 役割分担
23年10月23日	赤堀みち代宅	西郷多恵子、鴨川富美子、宮本勝海、石川尚子、増田家久	茶道授業について	・実施日 ・参加者の募集 ・事前授業と当日予定している内容 ・役割
23年12月20日	池新田公民館	沖静男、鴨川富美子、西郷多恵子、石川尚子、村松澄子	茶道文化体験実施について 委託事業について	・実施日決定 ・参加者
24年3月6日	池新田公民館	沖静男、鴨川富美子、西郷多恵子、石川尚子、村松澄子	「日本総合理解講座」報告 新年度日本語クラスについて	経費概要 報告書作成確認事項 素案提示 講師申込者の研修



### 3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 日本総理解講座
- (2) 開催場所 静岡県原子力広報研修センターなど
- (3) 学習目標 日本社会の様々な分野を総合的に理解する
- (4) 使用した教材・リソース  
日本事典(ナツメ社)、日本タテヨコ(学研)、竹取物語/伊勢物語(講談社)、税金の話(野村証券)、官公庁資料、自主作成教材
- (5) 受講者の募集方法  
主として現在その他の一般授業に出席している生徒及び卒業生に口コミで依頼
- (6) 受講者の総数 15人  
(出身・国籍別内訳: ブラジル7人、タイ2人、イギリス1人、フランス1人、中国1人、ベトナム3人)
- (7) 開催時間数(回数) 63時間 (全40回)
- (8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	5月8日 11:00~12:30 (以下同)	1.5時間	2人	ベトナム(ベトナム語)2人	教授者1人	日本人の精神性(無常の考え、桜と椿) 日本事典、日本タテヨコ、
②	5月15日	1.5	4人	ベトナム(ベトナム語)	教授者	芸術に見る桜と椿、名所

		時間		語) 2人、タイ(タイ語) 1人、中国(中国語) 1人	1人	と観光など 自主作成教材
③	5月22日	1.5時間	5人	ベトナム(ベトナム語) 2人、タイ(タイ語) 1人、イギリス(英語)1人、フランス(フランス語)1人	教授者 1人	桜の徽章、「生きて捕囚の辱めを受けず」について ディスカッション 自主教材
④	5月29日	1.5時間	4人	ベトナム(ベトナム語)2人、イギリス(英語)1人、フランス(フランス語)1人	教授者 1人	節句について、 柏餅試食 日本事典 自主教材
⑤	6月5日	1.5時間	3人	ベトナム(ベトナム語)2人、イギリス(英語)1人	教授者 1人	日本の健康保険について 日本事典 自習教材
⑥	6月12日	3時間	3人	ベトナム(ベトナム語)2人、イギリス(英語)1人	教授者 1人	地域の歴史(庄屋、城) 日本事典
⑦	6月19日	1.5時間	4人	ベトナム(ベトナム語)2人、イギリス(英語)1人、フランス(フランス語)1人	教授者 1人	日本の社会保障、運転免許の話(各国比較) 日本タテヨコ 自習教材
⑧	6月26日	1.5時間	3人	ベトナム(ベトナム語)2人、フランス(フランス語)1人	教授者 1人	フランスの社会保障(国是に関し)
⑨	7月3日	1.5時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人	日英の歴史 日本タテヨコ
⑩	7月10日	1.5時間	3人	ベトナム(ベトナム語)2人、イギリス(英語)1人	教授者 1人	日本の武道 日本事典、日本タテヨコ
⑪	7月16日	2時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人 補助者 1人	日本武道(礼と技) 日本事典、自主教材

⑫	7月28日	1.5 時間	1人	ベトナム(ベトナム語)1人	教授者 1人	宗教、お盆 日本事典、日本タテヨコ
⑬	7月31日	1.5 時間	3人	ベトナム(ベトナム語)1人、イギリス(英語)1人、フランス(フランス語)1人	教授者 1人	お盆について 日本事典、日本タテヨコ
⑭	8月4日	2時 間	4人	ベトナム(ベトナム語)2人、イギリス(英語)1人、フランス(フランス語)1人	教授者 1人	エネルギー(世界の各種エネルギーと構成比率など) 中部電力資料、自主教材
⑮	8月11日	1.5 時間	1人	フランス(フランス語)1人	教授者 1人	新盆について 日本事典 自習教材
⑯	8月14日	1.5 時間	1人	フランス(フランス語)1人	教授者 1人	家紋の話、あいづち 日本事典、日本タテヨコ
⑰	8月25日	1.5 時間	2人	ベトナム(ベトナム語)2人	教授者 1人	家購入のローンとリフォームの話 自習教材
⑱	9月4日	1.5 時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人	日英の地層と地震 自習教材
⑲	9月11日	1.5 時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人	日本人の内と外(本音と建前、謙虚、義理人情など) 日本タテヨコ
⑳	9月18日	1.5 時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人	日本人の内と外(日本的商談、根回し、集団主義など) 日本タテヨコ
21	9月25日	1.5 時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人	日本語の歴史 自習教材
22	10月9日	1.5 時間	1人	ベトナム(ベトナム語)1人	教授者 1人	日本人の内と外(集団主義、根回しなど)

						日本タテヨコ
23	10月16日	1.5時間	2人	イギリス(英語)1人 ベトナム(ベトナム語)1人	教授者 1人	日本の祭り、宗教、性転換の話 日本タテヨコ自習教材
24	10月23日	1.5時間	1人	イギリス(英語)1人 ベトナム(ベトナム語)1人	教授者 1人	七五三について、日本の古典文学について 日本事典
25	10月30日	1.5時間	3人	イギリス(英語)1人 ベトナム(ベトナム語)2人	教授者 1人	竹取物語
26	11月6日	1.5時間	2人	イギリス(英語)1人 ベトナム(ベトナム語)1人	教授者 1人	竹取物語
27	11月13日	1.5時間	2人	イギリス(英語)1人 ベトナム(ベトナム語)1人	教授者 1人	伊勢物語(男女の心の機微について)
28	11月20日	1.5時間	2人	イギリス(英語)1人 ベトナム(ベトナム語)1人		竹取物語
29	11月27日	1.5時間	2人	ベトナム(ベトナム語)1人、イギリス(英語)1人	教授者 1人	竹取物語最終章について ディスカッション
30	12月3日	1.5時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人	宇宙物理学の日本語
31	12月11日	1.5時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人	防災訓練、インフルエンザ予防接種について
32	12月18日	1.5時間	1人	イギリス(英語)1人	教授者 1人	クリスマスについて
33	1月8日	1.5時間	7人	ブラジル(ポルトガル語)7人	教授者 1人	上手なお金の貯め方-家計簿と銀行利用 自習教材
34	1月15日	1.5時間	7人	ブラジル(ポルトガ	教授者	上手なお金の貯め方-年

		時間		ル語) 7人	1人	金 口座振替依頼書、日本から 出国される皆様へ(社会 保険機構)自主作成
35	1月22日	1.5 時間	2人	ベトナム(ベトナム 語)2人	教授者 1人	茶道について(時代背 景、) 自習教材
36	1月29日	1.5 時間	2人	ベトナム(ベトナム 語)2人	教授者 1人	茶道について( (禅、仏教、平等の考え) 自習教材
37	2月5日	2時 間	3人	ベトナム(ベトナム 語)2人、イギリス (英語)1人	教授者 1人 補助者 1人	茶室で茶を頂く実地の説 明 表千家手前(主婦の友社)
38	2月12日	1.5時 間	4人	ベトナム(ベトナム 語)2人、インドネ シア(インドネシア 語)1人、タイ(タ イ語)1人	教授者 1人	日本の税金と税率、雇用 保険、年金 日本タテヨコ
39	2月19日	1.5 時間	2人	ベトナム(ベトナム 語)2人	教授者 1人	ローンと税金控除 日本タテヨコ
40	2月26日	1.5 時間	5人	ベトナム(ベトナム 語)3人、タイ(タ イ語)2人	教授者 1人	雇用保険、年金還付申請 について 日本年金機構資料

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

特徴がわかる授業報告を詳細に記載。また、教室風景の写真を数枚添付。



・ 8月4日 テーマ： 世界のエネルギー事情

世界各国のエネルギー構成比率・自然エネルギー比率・発電原価の資料（自主）をもとに、それぞれの国の電力使用の様子を話し合う。

英仏とも冷房は必要ない、英は北海油田から供給も。フランスから原発電力輸入（ジョークがある）。ドーバーに風力発電。仏は原発約80%。ヨーロッパ各国に輸出。世界一電力料金が安い。ドイツもイタリアも結局フランスから原発電力を購入。

ベトナムは今後電力の需要大幅拡大、原発も建設。

意見：北欧は水力の比率が多いが、電力料金が安い。

日本の自然エネルギー1%を10%に引き上げるには長い年月が必要だが、一定まで上昇すれば後は早いだろう。

この後、原子力館と研修所見学。実物大模型を前にした訓練を見学、「失敗に学ぶ回廊」ではたくさん質問が出た。



- ・ 1月8,15日 テーマ：上手なお金の貯め方

ブラジル人たちから要望あり、開催。

各家の公共料金を発表。日本の4人平均家族の光熱費と比較しても特別無駄遣いしてはいない。携帯電話も利用料数千円以下が多い。食費も外食はきわめて少なく、家で食べるようにしている。それにも関わらず家計が楽ではないのは何故か？→家賃が高い。また、ブラジルは鉄道運賃無料。

家計簿の話・・・実際の日本の家計簿を見せて説明。感想：とてもこんなに細かく記載することはブラジル人には出来ない。習慣が無い。しかし日本人はやるのだ。PCソフトもある。これほど細かくつけなくてももっと大まかにつければお金の出方がわかって、次はこの無駄遣いをやめようという気持ちになる。あまり細かく几帳面にやっては続かない。カードで支払えば記録が残るから、うちはカードで支払うようにしている。こういう話は何回もしないと習慣にならない。

銀行の自動振替は通帳に記載される日本語がわからないからポルトガル語で記載してほしい（日本に来たのだから最低限の日本語を学ぶのは当然）。



- ・ 1月22,29日,2月5日 テーマ：茶道について

茶道が生まれた時代背景の説明。当時の茶の湯とは？茶の湯に取り入れられた禅と仏教の考えについて。平等の考えが反映されている茶室の構造について。社会に広く影響を与えたか？

本格茶道体験のための説明。茶道具は美術品であり、それを鑑賞する意味、実際に美術品を使用する意味。壊したら？（壊してもそれを受け入れる）

季節の観賞。総合芸術としての茶道。利休の茶→現代までの変遷。

草履にはきかえてにじり口から席入り、指導を受けながら本格体験。





#### 4. 事業に対する評価について

##### (1) 当初の学習目標の達成状況

最初は当方が予定を立てて授業を行ったが、次第に生徒の要望が出て来たのでそれに即した授業を行い、彼らが何が理解できていないかが分かった。たとえば、

- ・ 大体の日本語は理解できているが社会のシステムがわからないと言う。
- ・ 自分たちの母国語で表示してほしい、という意見が出たが、ここは外国なのだから最低限度の日本語を勉強するのは当然であり、日本語教室で勉強するべきだが、外国語の翻訳通訳をつけようと安易に考える日本人にも問題がある。
- ・ タイもベトナムも仏教国だが「自殺（自決）は両親に対して罪だ」と言う。日本では仏教は葬式以外の役に立っていない。
- ・ キリスト教国における性転換の考え方、キリスト教がいかに精神文化に深く根づいているかを知る。
- ・ フランスは国是（自由平等博愛）があるから出生率も高いし、母子家庭の子も補助金（税金）で大学進学できる。その代わり税金も高い。
- ・ 借家に暮らして貯金をするのは大変（なかなか貯金ができない）
- ・ ブラジルは鉄道運賃は無料（それぞれの国の政府の税金の使い道）
- ・ 個人の自由と言うこと（祭典参加費一律徴収について、不公平だ）
- ・ 今まで年金還付請求について私たちは教えてあげることができなかった。この件は今まで私たちも気がつかなかったし、市の担当課は「帰国後、母国で何らかの組織が手続きをしてくれるだろう」と言っているが、実習生に質問したところ、帰国すればそれですべて終わり、と言う。彼らの母国では日本人が思うほど組織化されてははいるのが実情なのだ。

相互理解のためには言葉による意見の表明、状況の説明が必須だが、それには共通言語が必須である。通訳翻訳なしでは十分な理解とは言えない。

- (2) 学習者の習得状況  
年金還付については帰国して手続きを取るという。  
日本人の考え方が理解できたと思うが、やはり「東は東、西は西」であろう。
- (3) 日本語教室設置運営の効果, 成果
- ・ 長期滞在の人たちが必要としている情報が多少なりとも伝達できた。  
今後日本語教室を運営してゆく上で、従来の段階的な日本語授業のほかに、生活者としては社会システムを知りたいという考えがあることがわかり、私たちも勉強になった。しかし、こういう授業を行うには経費が必要。
  - ・ ディスカッションにより、各国の状況が明らかになったこと。これも経費が必要。
- (4) 地域の関係者との連携による効果, 成果 等
- ・ 文化体験や見学において、参加外国人の知識が豊富で、具体的な質問を熱心に行い、予定時間を超えるほどであったが、関係者が誠実に対応してくれて充実した見学ができ、理解にもつながった。
- (5) 改善点, 今後の課題について
- ① 現状
    - ・ テキストに沿った日本語の授業が多い
  - ② 今後の課題
    - ・ 社会システムの説明のような、ニーズに合った授業が必要だが、経費が出せない。
  - ③ 今後の活動予定, 展望
    - ・ 今年度の授業のような授業要望があればその都度実施する。